

避難所へ物資急ぐ

水■即席ラーメン■燃料■おむつ

東日本大震災の被災地支援について、菅直人首相は16日、首相官邸での緊急災害対策本部で「食べ物、水、特に燃料に対して各地から不足の声が上がっている。一層の努力をお願いしたい」と全閣僚に指示した。菅内閣は物資の現地への配送を急いでいる。

防衛省は各地からの被災地への救援物資の輸送・配送を始めた。

■主な支援物資の状況

品目	品名	到着済み	輸送中・輸送準備中
食料など	パン (個)	395,550	914,900
	即席ラーメン (個)	63,200	179,800
	おにぎり (個)	14,800	452,146
	包装米飯など (個)	10,000	585,209
	飲料水(本)	202,400	1,513,738
生活用品	毛布 (枚)	97,000	306,795
	おむつ(枚)	10,000	197,000
	仮設トイレ (個)	130	3,146
燃料	重油や灯油など (リットル)	760,000	160,000

首相官邸の緊急災害対策本部が15日午前0時現在で各府省からの状況をまとめた

市町村や企業、団体は、都道府県を窓口として、50カ所の自衛隊施設に物資を運び込む。自衛隊輸送機で空輸し、車両やヘリで避難所などへ配布する。これまで集積する場所や方法が決まっていなかったため、自衛隊や米軍の輸送が滞っていた。菅首相が15日に北沢俊美防衛相に指示し、配布担当を自衛隊に一元化することが決まった。

また、被災地の燃料不足に対応するため、防衛省は自衛隊の備蓄燃料を避難所などに提供することを決定。16日に宮城県の航空自衛隊松島基地に備蓄するガソリンや軽油を避難所に運び始めた。

農林水産省は16日午前7時までに、食品メーカーなどから提供を受けた食料176万食と飲料水約84万本を被災地に向けて発送。追加の食料129万食、飲料水103万本の発送も準備している。